



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

## 希望記事

・大学院などの社会人入学について

Careerのコーナーでは、キャリアアップのための留学などについて、それがキャリア形成にどう関わったかななどの体験談を紹介しております。大学院への社会人入学も同じ形で紹介できると思います。

・最近、身近にいわゆる鬱的な症状で休む人が増えてきている。職場で、また地域で、そういう人にどう接したらいいのか、教示して頂ける内容をとり上げていただけませんか。また、家族であった場合はどう接したらいいのでしょうか。

・メンタルヘルス対策としての職場におけるカウンセリングの実態（産業カウンセラー等の活用状況）について  
・自殺に関する特集をお願いできたらと思います。

今号から交流分析を基にしたメンタルヘルスについて連載しておりますが、ご意見のように鬱病や自殺をはじめとしたメンタルヘルス関連の特集を希望される方が増えております。今号のFamilyの中で、鬱病について一部解説がありますが、今後も紹介していく必要があると考えています。

・「債券投資の魅力と注意点」に続いて、個人向け仕組債に関する紹介記事をお願いします。

今年度の目黒先生の連載「金融商品とのつきあい方」は、大多数である投資経験が浅い方向けの商品の特徴やリスクを紹介しております。個人向け仕組債はデリバティブなど高度な金融手法を用いた商品であり、リスクもあり、商品内容も複雑なので、本誌での紹介にはなじまないものと考え

えております。

・退職後に向けたキャリア形成に関して、①公務員経験のある有名人（作家、教授、企業家など）、②退職後活躍している職業人（税理士、司法書士、行政書士、社会事業の経営者など）、③退職後活躍している社会起業家やNPO活動家、の記事により、こころざしに触れたり、準備や資格取得などを知ることが参考になるのでは。

今号のPersonの緒方氏の記事などは、まさにご希望のテーマに沿った記事ではないでしょうか。今後もPersonやUseful Lifeのコーナーで紹介していきたいと考えております。

・金融商品取引法・金融商品販売法についてとりあげて欲しい。預金から投資にシフトしていくときに、取引のルールについて知っておくのと知らないのでは金融商品購入を勧誘された時、または購入する時に差が出てくると思われます。

現在のところ当該法制度を単独で採り上げる予定はありませんが、金融商品知識の紹介記事の中で触れる機会があるかもしれません。

・見開き半ページ程度の、軽く読める記事がもう少しあってもよいか、と思いました。芸術や映画、スポーツのちょっとした話題など……。

コラムの分量については悩ましいところです。多すぎると「ライフプランとは関係ない内容が多すぎる」とお叱りを受けますし、少ないと「硬過ぎる」と言われます。現在ぐらいが適当かと考えております。

・最近、老後をタイなどの外国で暮らしているご夫婦がいらつしやると聞いています。物価も安く、働かなくてもなんとかな年金で暮らせるのだそうです。そんな方のお話を聞きたいと思います。

本誌八〇号（二〇〇七年二月号）の取材記事で、バンコクにおける長期滞在を紹介しております。記事内容をPDFファイルの形で当協会ホームページ内に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。

## その他ご意見

・小柴昌俊氏のインタビューは好企画。研究者でありながら公益に対する意識を強く持たれていることや、私財をなげうって財団を立ち上げられ、基礎科学の振興に努力なさっておられる姿に感銘を受けた。（他同意見三名）

・小柴さんのインタビューは、ご本人の写真からのイメージと記事内容がぴったりと重なっており、ほのぼのとしたものまで感じてしまいました。巻頭を飾るのにふさわしい記事だったと思います。

小柴先生へのインタビューは、多くの通信員の方から「良かった」との評価を頂きました。特に「国民の税金を無駄にしない」という先生のお話は、公務員として、改めて考えさせられたのではないのでしょうか。

・九月七日から北京パラリンピックが開催される。八七号に登場なさった佐藤真海さんが良い成績を残された場合、ぜひ誌上でご紹介頂きたいと思う。

佐藤さんは走り幅跳びに出場し、六位入賞と健闘されました。本誌へのインタビューとパラリンピック出場を通して多くの読者に感動を与えていただいた佐藤さんに大きな拍手を送りましょう。

・「食事は健康づくりの原点です」が終わってしまうのが残念です。最近では学校で子どもたちに食育を教えています。親の世代ももっと食育を学ばねばだと思えます。定期的に食育を取り上げてほしいです。（他同意見一名）

すぐには難しいですが、今後の記事企画の中で検討いたします。

・消防団「いやいやながら始めて、いつの間にか二十年」気持ちがよく表現されている。読んでいると状況が手に取るように理解できる。地域の防災のため一生懸命活動したいとの事、敬意を表し、併せて健闘を祈ります。（他同意見二名）

このようなご意見をいただきますと、つくづく「紹介してよかった」と思う次第です。ありがとうございます。

・今回も盛りだくさんの充実した内容でした。「風を起さず」では仕事に対する、「今求められるキャリア開発」では住民（外）に対する、また「情熱と絆」では内部（部下への指導）に対する自分の姿勢について再度考えさせられました。

・いつも自分の意識の向上のためにとじっくり読んでいます。日々、問題点をきちんと見るようにと注意して生活するようにしなくては、と戒めを込めて機関誌の発行を楽しみにしています。

ありがとうございます。これからも、さらに充実した誌面作りに努めてまいります。

・ライフプランで年収が出ていたが、いまどきの地方公務員はそんなに年収が高くない。(以下略)

連載のライフプラン講座でライフプラン計画表を使っていますが、使われている年収は、あくまでも作成例としてご理解くださればと考えております。

・山口良治先生のお話、とても感動しました。現在二五歳の息子がハンドボールを通して立ち直り、立派に社会人となり、社会に恩返し出来るようになった今、かつて悩んだ日々と重なり、先生のますますのご活躍をお祈りしたい気持ちでいっぱいです。

ライフプラン講演会での山口先生のお話は、まさに情熱がほとばしる素晴らしいものでした。あの熱気が少しでも文章からお伝えできたならば幸いです。

・協会HPでもかなり記事が蓄積されて来ており、求める人に対して参考になるものが多いと思われれます。HPも課題ごとに読めるようになっていきます。そこで、せっかくのHPをにぎわうようにするのが課題と思われれます。まず自治体のHPにバナーを張らせてもらっては如何でしょうか？(中略)協会の活動を対外的にPRして、マスコミなどに取り上げられるように工夫して下さい。もったいないと思います。以上、進化してください。応援しています。

全国の地方公共団体の担当者みなさま、ぜひ職員向けイントラネットの中で当協会HPへのリンクを設定していただきますようお願い申し上げます。

